



## ●紀州街道散策（天性寺）

天性寺は、南海線蛸地蔵駅から北西へ500メートル、江戸時代の古い家が軒を並べる紀州街道を少し過ぎたところにあります。

寺院は元亀元年（1570）に建立され、境内には地蔵堂として日本一大きいといわれているお堂があります。毎年1月23、24日には初地蔵、8月23、24日には千日大法会があり、この千日大法会に参詣すると、一日で千日分の功德があるということで、昔は早朝から近郷近在の人々で紀州街道筋は大にぎわいであったそうです。

この寺院にまつわる話として、天正年間（1573～86）に、岸和田城が根来・雑賀衆さいかに攻められ、落城寸前となりましたが、一人の法師と数千の蛸がどこからともなく現われ、凄まじい勢いで敵兵をなぎ倒し、城の危機を救ったという伝承が縁起絵巻として残されています。その数日後、城の堀から矢傷・玉傷を無数に負った地蔵が発見され、城内に大切に安置されたそうですが、文禄年間（1592～96）からは本寺内に移され、今



天性寺

に至っています。このような伝説から、当寺は「蛸地蔵」の名で親しまれています。

境内には一切蛸を食べずに願をかける、風変わりな蛸絵馬も無数に奉納されています。

また、参道入口左側の石標「たこちそう」の字は、江戸時代の書の大家・池大雅いけのたいがの書であると伝えられています。

この天性寺以外にも、近辺には岸和田城を中心とした紀州街道の歴史的な町並みやイギリスの港町をイメージさせるアウトレットモール、シネマコンプレックスなどの複合施設が建ち並ぶベイエリアもありますので、ぜひ岸和田の今昔を堪能しに来て下さい。



### ▼お問い合わせ先▼

岸和田市生涯学習部郷土文化室  
郷土史担当

TEL 0724-23-9689（直通）